道徳科で心を耕すⅡ

今日も１校時は道徳科の授業でした。授業の内容に入る前に、まずは右の写真をご覧ください。とても姿勢の良い生徒を発見しました。先生が資料を読み始めると、右のように背筋を伸ばし、先生の声を聞きながら、しっかりとプリントを目で追っていました。ちなみに、この学級の今日の題材は「**背筋を伸ばして**」でした。今日の題材名を聞いてから、このような姿勢になったのか、日頃からこの姿勢なのかはわかりませんが、少なくともこの時間は、授業のねらいに沿って行動しているので、素晴らしいことです。なお、この生徒は、校長室を通る時、いつも元気良くあいさつをしてくれるという、明るく前向きな姿が見られる生徒です。

さて、道徳科の授業についてですが、今日も先生方がそれぞれ工夫をして授業をしていました。道徳科の授業を参観する面白さは、「**様々な題材がある**」ことや「**指導者の人となりが現れる**」ことです。各教科の授業内容はある程度、知っていますが、道徳科の授業については、教科書を使ったり、ねらいに合った自作教材を使ったりします。教科書で取り扱う題材も毎年、同じものばかりではありません。ですから、私自身も初めて出会う題材もあります。初めて出会った題材にはとても興味を惹かれます。どのような内容なのか？どのように授業が進んでいくのか？どのような道徳的価値について、考えを深めていくのか？授業の最後は、どのように終わるのか？などです。私自身もかつて道徳の授業をしている時は、授業準備に時間をかけていましたが、楽しく準備をしていた記憶があります。道徳の授業は、教科とは違う話ができるからです。日常生活や社会に関すること、生き方に関すること、色々な考え方に出会えることなど、道徳の授業ならではの魅力があります。

また、同じ題材でも指導者によって違う授業になります。これが授業の１つの魅力だと思います。授業をする先生が、何を大事にしたいか、どのような雰囲気で授業をするか、など、先生の個性が授業に現れます。それぞれの個性があるため、教科授業を参観する時とは違う面が見られます。そこが道徳科授業を参観して面白いと感じるところです。

では、今日の道徳科の一部を紹介します。

『山岳民族の文化を守る』

他国の文化を尊重し、国際貢献しようとする心情を育てます

『山に来る資格がない』

自分勝手な行動をしてしまったことから、望ましい生活習慣を身につけることの大切さについて考えさせます

『注文をまちがえる料理店』
　互いに相手を尊重し、色々な見方や考え方があることを理解させます

『奇跡の一週間』
　生命の尊さを理解し、自他の生命を大切にしようとする心情を育てます

『ライバルどうしの友情』
　ライバル選手の関係を知り、友情と信頼の意義を理解し、友情を深めようとする態度を育てます

『缶コーヒー』
　公共の場でも決まりの意義を理解し、皆が安心して過ごせる社会を築こうとする心情を育てます

　今日の道徳科授業の学びを通して、また生徒の心が耕されました。授業や学校生活、友達との交流等、様々な活動を通して、これからもますます心を磨き、豊かな心をもった生徒に育ってほしいと思います。